

Invitation to New Fuji Sacred Heart



新しい入試が始まります。

【不二聖心女子学院の新しい入試について】

不二聖心女子学院では、これまでのA日程、S日程、B日程の入試に加え、2026年度入試より総合型選抜入試を始めます。総合型選抜入試には、芸術系と自然科学系とグローバル系の3種があります。

不二聖心が芸術教育と自然を生かした教育とグローバル人材の育成に力を入れてきた伝統とSTEAM教育の新たな展開を目指していることをふまえ、この3分野において、優れた意欲や関心を有する生徒を募集することが目的です。

入学後についても総合型選抜入試によって入学した生徒が、いっそう力を伸ばすことができるよう独自の教育プログラムを用意してお待ちしております。

加えて、A日程の英語入試については、資格入試のみとし、既得の資格を入試において生かせる形式としました。

試験日 2026年1月12日(月)

定員 5名(芸術系、自然科学系、グローバル系合わせて)

形式 プレゼンテーション10分程度(実技の披露等を含めてもよいですが、必ず資料等を用いての説明のプレゼンテーションを行ってください。その後、質疑応答の時間を設けます。)

Invitation to Art 芸術系

19 世紀のフランスにルーツを持つ聖心女子学院は、長く西洋の芸術の世界と関わりを持ってきました。かつてのパリの聖心女子学院は現ロダン美術館であり、多くの聖心関係者がロダンの彫刻に親しんできました。世界に広がる 140 を超える姉妹校には、聖母マリアのフレスコ画が飾られています。音楽はキリスト教信仰にとって欠かせないものであり、作曲家メンデルスゾーンは聖心会のために 3 つのモテットを創作しています。クリスマスキャロルは、不二聖心女子学院の三大行事の一つに数えられています。2025 年度には左手のピアニスト館野泉氏の公演やノルウェーのベルゲン大学と不二聖心女子学院の生徒とのコラボコンサートも実現しました。このような伝統の上にたって教育においても大切にされてきた芸術分野について優れた資質や高い意欲関心を持つ生徒を募集する新しい形態の入試を 2026 年度入試よりスタートします。

【入学後の芸術分野に関係する学びの機会について】

・彫刻家渡辺憲二氏による美術制作・鑑賞などに関わる実技指導・

講義

時間：毎週木曜日 15:30～16:15

内容：絵画・彫刻など美術に関わる実技指導、美術史、イタリア文化史

の講義、イタリア語講座 アニメ制作に生かせるデジタル美術入門講座、
美術系大学の入試対策(石膏デッサンなど)

※渡辺憲二 東京造形大学美術学部彫刻科卒業後、彫刻家重岡建治氏に師事。1996年 渡欧。イタリアにて彫刻、ウィーンにて絵画、建築装飾を研究。パオリ大理石工房(ピエトラサンタ)、イーヴォ・ポーリテラコッタ工房(ピエトラサンタ)、ラスタンペリア銅版画工房(サンジミニャーノ)、フォルナイーニ・フレスコ画工房(ピサ)などにて創作活動が続ける。

・弦楽器クラブでの吉貝多佳子氏のレッスン

時間：平均して月2回 15:45～16:35

内容：ヴァイオリンの実技指導。文化祭(秋のつどい)の公演に向けての指導。

※吉貝多佳子 神戸女学院大学 音楽学部 ヴァイオリン科卒業。岩淵龍太郎、小林茉莉の各氏に師事。在学中アルカディアアンサンブルに所属。黄瀬川クラシックコンサートに出演。現在、沼津交響楽団と三島ゆうゆう祝祭管弦楽団のコンサートミストレスを務める。裾野弦楽アンサンブル ラ・コルダ主宰。静岡交響楽団を始め近隣のオーケストラなどで演奏活動を行っている。日本弦楽指導者協会会員。

不二聖心女子学院には 21 万坪の敷地があり、そこには茶畑、クヌギ林、ヒノキ林、すすき野原、草原など多様な環境が存在しています。この自然環境を生かして不二聖心女子学院では伝統的に環境教育が大切にされてきました。自然探索クラブは、フィールドワークや研究活動に励み、高校 1 年生の「総合的な探究の時間」に行われている ESD(持続発展教育)は 30 年以上の歴史を持っています。2024 年度の東京農業大学地域環境科学部との中高大連携協定締結、2025 年度の日本大学芸術学部との学術交流協定締結により、自然を生かした教育の可能性はさらに高まっています。以上のような伝統の上に立って、自然についての高い関心と学びへの意欲を持った生徒を募集する新しい入試を 2026 年度入試よりスタートします。

【入学後の自然科学分野に関係する学びの機会について】

- ・日本野鳥の会東富士副代表 滝道雄氏の指導による野鳥観察体験
年間 5 回程度

内容：21 万坪の敷地内の野鳥の生息調査を行い、野鳥の種類や生活史、生息分布などへの理解を深める。

※滝道雄 日本野鳥の会東富士副代表。静岡県野鳥愛護協会 理事。富士

山自然誌研究会 幹事長。特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島
環境アドバイザー。

2001 年 財団法人日本鳥類保護連盟会長褒賞

2021 年 自然公園関係功労者大臣表彰

・東京工業大学名誉教授 本川達雄氏(『ゾウの時間ネズミの時間』の著者)の特別授業「歌う生物学」

・横浜薬科大学準教授 鰐淵清史氏の特別授業「薬草の不思議 ～不二聖心は薬の宝庫～」

・藤田医科大学教授 築瀬正伸氏の特別授業「心臓移植に携わって」

・高1「総合的な探究の時間」における里山づくりコンテスト

日本森林学会での高校生ポスター発表

・東京農業大学地域環境科学部教授 橘隆一氏の研究(根系調査)の実習体験

・自然探索クラブでの活動

・静岡県自然環境保護調査委員会の調査員による不二聖心の生物調査の見学

以上の活動の他にも中高大連携協定を締結している大学の提供するプ

ログラムに参加することができます。2025 年度には東京農業大学より高校 2 年生を対象とした STEAM 講座に 8 名の生徒が参加しました。高校 2 年生で大学の 2 単位を習得できるプログラムです。プログラムの詳細については次頁を参照してください。



挑め!!
キミの知らない新領域へ



令和7年度

特別講義

「東京農大STEAM教育講座」開講

東京農業大学では、本学が有する広い専門性から社会の課題解決にアプローチするための特別講義「東京農大 STEAM 教育講座」を令和6年度から開講しており、今年度は2年目となります。

STEAM教育とは、科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、芸術・リベラルアーツ (Arts)、数学 (Mathematics) の5領域による文理融合的な学びです。

高校教育においても分野を横断した探究学習の重要性が高まっていることから、併設校および高大連携協定校の生徒も「東京農大 STEAM 教育講座」を受講できることとしています。

なお、この講座を受講し課題の合格点に達した生徒は、将来、東京農業大学に入学した場合には、大学の学則に基づく「入学前の既修得単位」として認定されます。

申込について

**申込対象者：併設校および
高大連携協定校の高校2年生**

※STEAM教育講座での学び、東京農業大学での学びや研究に興味があり、本講座を最後まで受講できる、学習意欲の高い生徒を募るものです。

申込時期：各高校指定の期間とする

※申込期間・申込方法については、担当教諭にご確認ください。

受講費：無料

講座の詳細は、裏面を参照ください

東京農業大学
TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE

授業回	対象 STEAM分野	授業タイトル	担当教員	配信開始日	履修開始日
1	イントロダクション	イントロダクション：講義のねらい・評価方法・STEAM 教育とは何か	上岡 美保 教授 (国際食農科学科)	4月23日	—
2	SCIENCE 化学・生物	味と匂いを化学する	前橋 健二 教授 (薬学科学科)	5月7日	7月4日
3	SCIENCE / ART 生物・環境・経済・経営	持続可能なホエールウォッチングの実現に向けて	小林 駿 助教 (自然資源経営学科)	5月21日	7月18日
4	SCIENCE 生物・化学	微生物の力を応用する：おいしさをつくる微生物！世界に誇れる超菌	徳岡 昌文 教授 (薬学科学科)	6月4日	8月1日
5	TECHNOLOGY/ENGINEERING /MATHEMATICS 情報・化学・数学	エンジニア目線で考える地域防災：科学の力を生かす知恵に	本田 尚正 教授 (地域創成科学科)	6月18日	8月19日
6	MATHEMATICS 情報	文系でもできるデータサイエンス：言語を解析する	藤原 文史 准教授 (東京情報大学 総合情報学部)	7月2日	8月28日
7	TECHNOLOGY / ART 物理・地理・情報	ジオデータサイエンスで SDGs に貢献する	島田 沢彦 教授 (生産環境工学科)	7月16日	9月18日
8	ART 経済学	環境の価値をお金に換算する	田中 裕仁 教授 (食料環境経済学科)	7月30日	9月30日
9	ART デザイン・芸術	未来の街をデザインするランドスケープ	堀岡 孝則 教授 (芸術科学科)	8月1日	10月3日
10	MATHEMATICS 数学	自然の中で数学を見つけよう	上原 真 教授 (森林総合科学科)	8月27日	10月24日
11	TECHNOLOGY / ART 生物・化学・芸術	生物の形や機能を人間社会に応用するバイオデザイン	櫻井 健志 教授 (デザイン芸術科)	9月24日	11月21日
12	SCIENCE 生物・化学	アメリカザリガニから始める環境科学教育	武田 晃治 教授 (数値・学術情報学専攻)	10月8日	12月9日
13	ART / MATHEMATICS 経営・数学・情報	ビジネスモデルに数理・情報を用いる	沼田 勝守 教授 (アグリビジネス学科)	10月22日	12月19日
14	TECHNOLOGY/ENGINEERING 物理・情報	最先端技術「ドローン」で食料安全保障に貢献する	岡澤 宏 教授 (生産環境工学科)	11月5日	2026年 1月7日
15	ART 国際・開発経済	途上国の貧困・食料不安問題に開発経済学の視点で挑む	五野 日路子 准教授 (国際農業開発科学科)	11月19日	2026年 1月16日

プログラムの履修

担当教諭は、履修希望者を取りまとめ、**学校単位での申請を行ってください。**

履修希望者は、期日までに**担当教諭に申し出てください。**

受講できることが決定した後、講座の受講案内を連絡します。

授業形式及び評価

【評価】大学の評価基準＜参考＞

S: 90点～100点

A: 80点～89点

B: 70点～79点

C: 60点～69点

D: 60点未満

(S評価は履修者の5%以内)

☐ オムニバスの講義として開講

☐ 開講形式は 動画による **オンデマンド配信**

☐ 各回の授業は、講義約70分+試験20分の合計**90分**

☐ 試験は、各授業回完結で、Web Classにて**選択形式**(10点満点)で実施

☐ 最終的な科目の評価は、**試験の合計点数**で判定

☐ 講義15回(1回目はイントロダクションのため、試験は14回)の

合計点数の6割以上を合格とする。



不二聖心女子学院には世界に 140 を超える姉妹校があり、留学や体験学習などを通して姉妹校との交流を深めてきた歴史があります。伝統的に大切にされてきた英語教育の土台の上に、身近な国際交流を通して、異文化理解の能力を高め、国際社会で活躍する人材も多く輩出してきました。グローバル・シチズンの育成の必要がますます強く言われる中で、語学力に秀で優れた国際感覚を持った、国際社会で活躍できる人材の育成に力を入れたいと考え、語学に高い関心を持ち、国際社会で活躍したいなどの夢を持った生徒を募集する新しい入試を 2026 年度入試よりスタートします。

【入学後の国際理解教育等に関係する学びの機会について】

・海外体験学習

台湾体験学習

韓国体験学習(不二聖心女子学院主催)

フィリピン体験学習(小林聖心女子学院主催)

カンボジア体験学習(東京聖心女子学院主催)

- ・各種留学プログラム

パンフレット・ホームページ等参照。

【海外進学について】

- ・UPAS（ユーパス＝University Pathway Admission Service）を生かした海外進学

- ・指定校について

マレーシア

Taylor's University

Sunway University

INTI International University

Asia Pacific University

Monash University

University of Nottingham

University of Technology & InnovationUniversity of Wollongong

Malaysia

HELP University

※マレーシアは、人種、文化、宗教の多様性に富んでいて、物価が安く、一般的に治安がよく、親日的。熱帯降雨林のある自然環境も魅力。アセア

ンの他の国々へ簡単に渡航できます。

【海外進学についてのサポート体制】

- ・グローバルキャリアセンターの相談員による留学相談・海外進学相談
- ・Essay Writing and Overseas Admissions Interview Advisor（海外進学 英文エッセイ・面接指導 担当）による進学指導が受けられます。

Essay Writing and Overseas Admissions Interview Advisor

マイク・フェアウェザー

エイジ・A・カツマタ

※英語の資格入試について

2026 年 1 月 10 日(土)に行われる A 日程の入試の英語は資格入試のみとします。点数換算については、別途お知らせします。